

幼少期からの喘息・アトピーと全身浸出症状を経て日常生活へ戻った成人アトピーの経過 (30 歳 成人)

症例 ID：001-30-MH2 | 記録日：2014 年 11 月 24 日

1. 診断・治療前経過

幼少期から喘息とアトピーがあり、中学生頃まで吸入薬や内服薬を毎日使用しました。高校 2 年冬から顔を中心にアトピーが急速に悪化しました。高校卒業前には全身の出血、落屑、強い痛みがあり、大学進学後も冬に再悪化しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	喘息に吸入薬と内服薬、皮膚症状にステロイド外用薬を使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	幼少期から高校期まで断続的に使用しました。
中止時期	18 歳頃の松本医院受診前後です。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
幼少期～中学期	喘息・アトピー	喘息発作に対し吸入薬と内服薬を使用し、皮膚症状も続きました。
高校 2 年冬～卒業前	悪化	顔の腫れ、全身の出血と落屑、強い痛みがみられました。
18 歳頃	治療開始	大学を中退して実家へ戻り、喘息とアトピーの治療を開始しました。
治療初期	全身浸出期	耳を含む全身から浸出液が出て、寝たきりに近い生活となりました。
同時期	体重減少	食事がとれず、体重が約 80kg から約 50kg へ減少しました。
約半年後	生活回復	体調が改善し、外出、運転免許取得、アルバイトができるようになりました。
記録時点	経過後	冬から春に軽い波はあるものの、日常生活への支障はほとんどなくなりました。

4. ピーク時期

ピークは、治療初期に全身から浸出液が出て体力が低下し、食事がとれず体重が約 30kg 減少した時期です。

5. 困りごと

- 全身の浸出液と痛みにより、寝たきりに近い生活となりました。
- 大学を中退し、治療に専念する必要がありました。
- 食欲低下と大幅な体重減少がありました。

6. 経過のまとめ

約半年後には日常生活を送れるまで回復し、外出、運転免許取得、アルバイトを始めました。

記録時点では季節による軽い波はあるものの、日常生活への支障はほとんどなくなりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。